

プラスの問いかけは子どもの考える力や主体性、意欲、能力を引き出します  
マイナスの問いかけは子どものやる気をなくさせ、親子関係を悪くします。

### <子どもに対するプラスの問いかけ>

- ・ どうしたらいいと思う？
- ・ どうしたら出来るかな？
- ・ どうしたい？
- ・ どうして欲しい？
- ・ 何か手伝えることある？
- ・ そののいい所ってどこかな？
- ・ 違う見方できないかな？
- ・ 相手の立場に立ったらどう見える？
- ・ 何から始める？
- ・ どうしたら楽しく出来るかな？
- ・ 今すぐ出来ることって何かな？
- ・ どうしたの？何かあった？
- ・ どうしてかな？

### <子どもに対するマイナスの問いかけ>

- ・ なんで～するの？
- ・ なんで～しないの？
- ・ なんで～したの？
- ・ もう宿題したの？
- ・ なんで怒らすの？
- ・ 何をしなければいけないの？
- ・ (悪い予想) になったら、どうするの？
- ・ どこを直さないといけないの？
- ・ ちゃんとしたの？ わかってるの？
- ・ 何がいけないの？
- ・ 誰が悪いの？

プラスの問いかけは子どもの考えや気持ちを聞こうとするもので、このように問いかけられると子どもは、自分は大切にされている、認められている、愛されていると感じます。このように感じるとき、子どもは自らの内に宿る『自己成長力』を発揮し、主体的・意欲的に物事に取り組んでいくようになります